

# 総務常任委員会記録

令和2年3月17日(火)午後1時44分～午後2時10分(9階 903 会議室)

## ○出席委員(9名)

|     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 白川 敏明 | 副委員長 | 鈴木 正実 |
| 委員  | 羽田 房男 | 委員   | 後藤 善次 |
| 委員  | 高木 克尚 | 委員   | 大平 洋人 |
| 委員  | 尾形 武  | 委員   | 村山 国子 |
| 委員  | 宍戸 一照 |      |       |

## ○欠席委員(なし)

## ○議題

所管事務調査「人口減少等の社会変化を見据えた持続可能な行政の在り方に関する調査」

1. 今後の調査の方向性について
2. その他

---

午後1時44分 開 議

(白川敏明委員長) ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

初めに、今後の調査の方向性についてを議題といたします。

本日、調査に関わる政策調整部の次年度予算の審査を行いました。その内容などを受け、さらに調査を進めるべき点や提言に結びつける点などありましたらご意見をお願いいたします。

なお、今後の調査の方向性につなげるため、1月10日の当局説明の振り返りを行った際の資料や、2月21日の行政視察の振り返りの際の資料などを再度ご確認ください、それらの内容との比較を含めたご発言を頂ければ幸いです。

それでは、ご意見のまとまった方からご発言をお願いいたします。

(宍戸一照委員) 今回、先ほどの質疑の中でも明らかになったように、当局もICT化を進めるということである程度の方向性の予算は出されたのだけれども、それを確認してみる必要性もあるのではないのですか、どういう考え方なのかということ。そうしないと我々のまとめも空振りに終わるし、来年度どの辺までやろうとしているのかとか。先ほどの質問ではやるというのはこの部分で試しにやって評価検証したいということなので、来年度の取組状況、予算でも。そのところは確認してみる必要性もあるのではないのですかなと思ったのですが。今回はここにある程度我々の意見をまとめて言っているわけだし、大体考え方の方向性というのはまとまっているのかなというふうに思う

のですけれども、当局の今日の説明では分かることなので、と思ったところなのですが。

(後藤善次委員) 今回、来年度予算のお話を当局から聞いた感じでは、構想的なものはあるけれども、具体的な細部にわたってはこれからやっていかなければいけないというようなお話だったように私は取ったのですけれども、6月か9月かということを見ると、やはりせつかくここまで私たちが調査した内容を現段階で6月のレベルできちんと当局にお伝えするというのも効果があるのかなという、9月まで引っ張ればそれなりに向こうも形づいてくるし、それに見合うようなこともこちら側で調査をしていかなければならなくなってくるのかなという、そういう思いなので、できるだけ私たちが調査した内容というのは早めに参考になるようにお伝えしてもいいのかなという気はするのですけれども。

(大平洋人委員) 私もまさにそのとおりでと思っていますので、6月でよろしいのではないのかなと。せつかくしっかりとやってきたわけですから、私も後藤委員の発言に対していいなと思います。

(白川敏明委員長) それでは、ほかの委員の意見を踏まえて、もう一度ご意見がありましたらお述べいただければと思いますが。特に今後市への提言になりそうなポイントや確認が必要な点等ございましたらお述べいただきたいと思います。

(後藤善次委員) 例えば今後9月に向けて調査をしようとする、分野的にはどういう分野に調査項目を考えられるかなという、その辺がバリエーション的に無いものですから、なかなかそこは表現できないというのですか、そういう思いだったので、今。

(鈴木正実委員) 今日私もアドバイザーの件聞きましたが、我々が目指すべきところというのが持続可能な行政の在り方であるというようなところとすれば、今回予算の中で目に見えているのは実際にやることでしかないような気がする。福島市に対してちょっと欠けているのではないかなというところが結局どんなところを目指してこれを入れているのかというのがなかなか感じられなかったのです。アドバイザーを入れてみたりといいながらも、では何のために入れるのかというところとか、目の前の現象にだけ対応する、そういう対応の仕方を今しているのではないかなと。本来的に福島市でやらなくてはならないのは何のためなのだということを我々のほうで提言していくとなれば、今そういうところをやっているのかどうかというのを確認する必然性があるのではないかなという感じがするのですけれども。

(白川敏明委員長) それでは、ここからは自由討議としたいと思います、発言の許可の指名は行いません。

#### 【この間自由討議】

(白川敏明委員長) 自由討議を終結いたします。

今後の方向性については、以上のようにもう一度当局に話を聞いて、改めて提言の方向性を決めるということによろしいですね。

#### 【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) そうしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは次に、その他を議題といたします。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか委員の皆様から何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) それでは、以上で総務常任委員会を終了いたします。

午後 2 時 10 分                      散      会

総務常任委員長                      白   川   敏   明